

立会後の提出図書一覧（2部）

【境界確定書】

提出図書	注 意 事 項
境界確定書	所定の様式を使用して下さい。（様式第8号）
	境界確定書及び添付図面に申請者、関係者等の割印を行って下さい。
	裏面は記載しないで下さい。
実測平面図	縮尺、方位、測量年月日、作成年月日、作成者資格・氏名を記載し、作成者の押印をして下さい。
	縮尺は1/250以上を基本とします。
	境界確定線は朱色実線で表示し、境界杭間距離及び確定延長（小数点第3位以下を切り捨て第2位まで求めること。）を朱記して下さい。
	申請国有財産の隣接地地番を記載して下さい。
	断面測点を記入して下さい。
	境界標の位置、境界標間の距離及び境界標と引照点（付近の永久構造物）の距離を記入し、将来も位置が復元できるものにして下さい。
	立会年月日、申請者の住所、氏名を記入し、実印を押印して下さい。 また、隣接地所有者（対側、点接を含む）及び関係者の所有地番または役職名（総代、水利組合長等）、境界同意及び住所、氏名を記入し、押印して下さい。
事前に、当事務所管理係へ図面（案）を提出し、指示を受けて下さい。	
実測断面図	縮尺、方位、測量年月日、作成年月日、作成者資格・氏名を記載し、作成者の押印をして下さい。
	縮尺は1/100以上を基本とします。
	境界確定線は朱色実線で表示し、確定幅員（小数点第3位以下を切り捨て第2位まで求めること。）を朱記して下さい。
	少なくとも断面をとる箇所は、起点、終点、最大幅員部分及び最小幅員部分を基本の位置とします。
	平面図と別冊になる場合は、申請者、関係者等の割印をして下さい。
	事前に、当事務所管理係へ図面（案）を提出し、指示を受けて下さい。

別表3

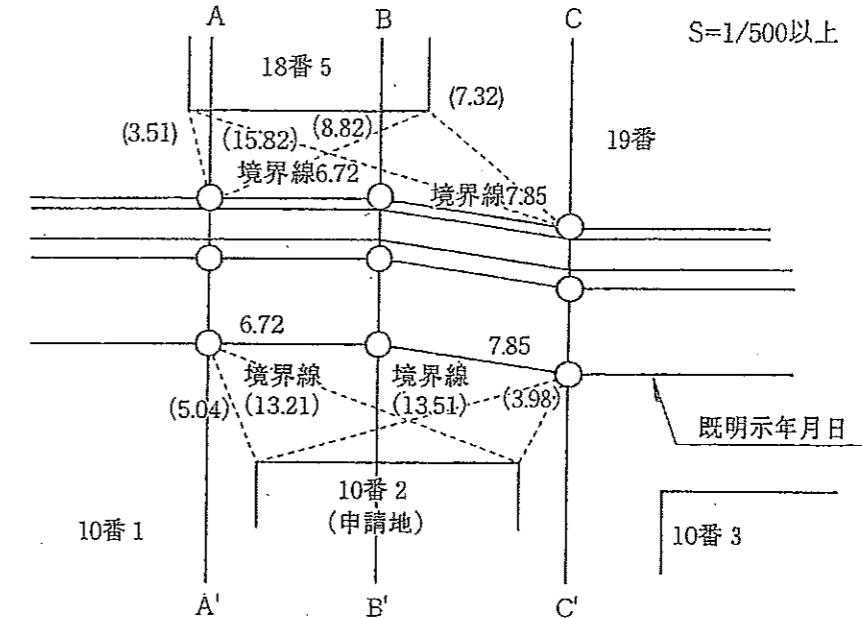
例示図

境界杭の位置を記載し、境界杭間距離を記載するとともに、代表する複数の境界杭と2点以上の恒久的地物との距離を記載すること。

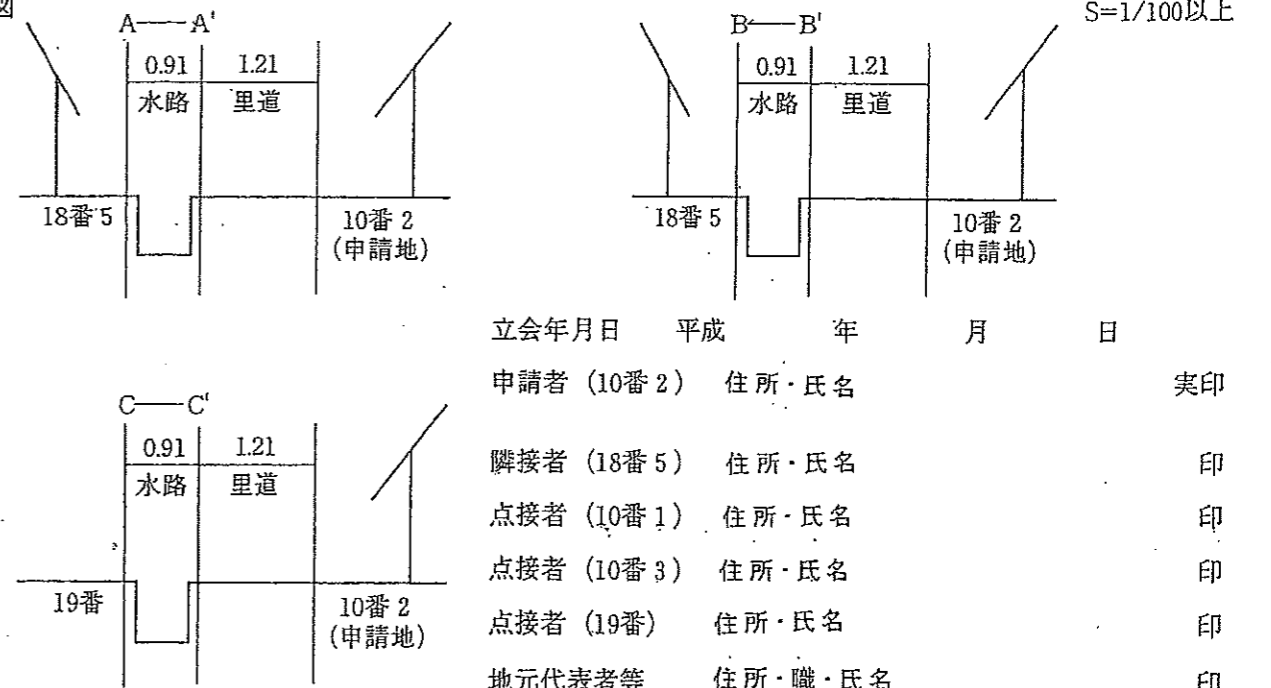
なお、座標軸法で作成された図面については、当該図面に2点以上の引照点（恒久的地物であること。）を表示するとともに計算書を所長に提出すること。

〇〇市 〇〇町 大字 〇〇地内

平面図



断面図



※地元代表者等（区長、水利組合長等）の印は、地元保管の公印を使用すること。

